muratec F-250 簡易取扱説明書

●詳しくは「取扱説明書」をご覧ください。

コピー・電話

コピーのしかた

1 原稿をセットします。

※必要に応じて、画質や濃度を設定します。

2 コピー キーを押します。

コピー

3 ダイヤル キーでコピー部数を入力します。

※一度にコピーできる原稿は 99 部までです。
※１部の場合は入力する必要はありません。

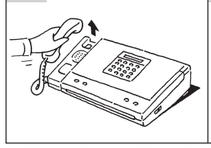
4 コピー キーを押します。

コピー

※コピーを開始します。

電話のかけ方（ダイヤルキー／本体電話でかける）

1 本体電話を上げます。



2 ダイヤルします。

3 回線がつながったら相手先と会話をします。

※他の電話のかけ方は取扱説明書を参照してください。（44 ～ 47 ページ参照）

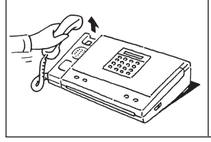
リダイヤルのしかた

1 本体電話を上げ、リダイヤル／ポーズ キーを押します。

2 回線がつながったら相手先と会話をします。

電話の受け方

1 ベルが鳴れば、本体電話を取ります。



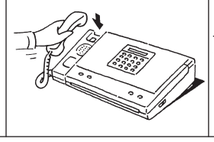
2 回線がつながったら相手先と会話をします。

保留のしかた

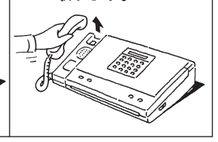
1 会話中に 保留 キーを押します。

保留

2 本体電話を元に戻します。



3 保留を終了するときは、本体電話を取ります。



登録のしかた

機　能	操　作　方　法
ワンタッチダイヤルのセット	機能→1→セット→登録するワンタッチキー(01～20)→セット→相手先のファクス番号(40桁)を入力→セット→転送先のある場合は転送番号(40桁)を入力→セット→相手先の名前を入力(24文字)→セット→グループ番号(0～32)を入力→セット(終了するときはストップキー)
ワンタッチダイヤルのクリア	機能→2→セット→消去するワンタッチキーを押す→セット→セット(終了するときはストップキー)
ワンタッチダイヤルリストのプリント	2：ワンタッチリストキーを押す または 機能→3→セット
短縮ダイヤルのセット	機能→02→1→セット→登録する短縮番号(01～80)を入力→セット→相手先のファクス番号(40桁)を入力→セット→転送先のある場合は転送番号(40桁)を入力→セット→相手先の名前を入力(24文字)→セット→グループ番号(0～32)を入力→セット(終了するときはストップキー)
短縮ダイヤルのクリア	機能→02→2→セット→消去する短縮番号(2桁)を入力→セット→セット(終了するときはストップキー)
短縮ダイヤルリストのプリント	3：短縮リストキーを押す または 機能→02→3→セット

R100 PRINTED WITH SOY INK

この取扱説明書は、R100 マーク認定の再生紙及び大豆油インクを使用しています。

Printed in Japan 2003-11（第１版）
D55-90060-60

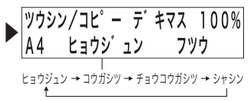
ファクス

原稿のセット　※一度にセットできる原稿は 20 枚までです。

1 原稿ガイドを原稿幅に合わせ、送る面を下向きに差し込みます。

2 必要に応じて「画質」を選択します。

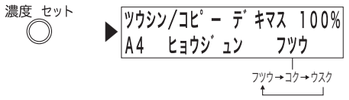
画質 クリア



※希望する画質が表示されるまで、画質 キーを押します。

3 必要に応じて「濃度」を選択します。

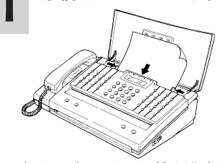
濃度 セット



※希望する濃度が表示されるまで、濃度 キーを押します。

ファクスの送信（ダイヤルキーで送信）

1 原稿をセットします。



※必要に応じて、画質や濃度を設定します。

2 相手先のファクス番号をダイヤルキーで入力します。

3 スタート キーを押します。

スタート

※他の送信のしかたは取扱説明書（26 ～ 30 ページ）を参照してください。

ファクスの受信

1 「ポーポー」と聞こえてきたら、ファクスです。

2 スタート キーを押します。

スタート

※受信の状態は、待機状態によって異なります。（36 ～ 41 ページ参照）

通信の中止

原稿読取中

1 ストップ キーを押します。

ストップ

原稿読取後

1 通信中止／確認 を押します。

通信中止／確認

2 機能 キーを押して、中止したい通信文書を表示させます。

機能

3 クリア キーを押します。

画質 クリア

4 中止する場合は再度 クリア キーを押します。

画質 クリア

※操作を中止するときは、ストップ キーを押します。

エラーコード

コード	コードの内容	コード	コードの内容	コード	コードの内容
D.0.2	相手が話中	T.3.1	連続送信時２枚目以降が繰り込みエラーとなった	R.1.4	受信中にストップキーを押した（通信管理記録のみ表示）
D.0.3	ストップキーが押されました。		900mm 以上の原稿を送信した	R.1.5	回線障害などが原因で交信できなかった。
D.0.6	オートダイヤル発信したとき、相手先ファクス番号が登録されていない		交信中断のあと「ランプカクニン」と表示した場合は光源の光量不足	R.2.3	回線障害などが原因で回線が切れた
D.0.7	オートダイヤル発信したとき、相手先に着信しない	T.3.2	回線障害などが原因で交信できなかった。	R.3.1	送信側で原稿を引き抜いたまたはストップキーを押した
D.0.8	「/」「！」の箇所で発信音がかえってこなかった	T.4.1	原稿を送信中に回線障害などが原因で相手機が回線を切った	R.3.3	受信中に信号が途切れた（回線障害などが原因）
T.1.1	番号まちがい（相手が出て切った）	T.4.2	相手側で画質異常となった（回線障害などが原因）	R.3.4	最低のスピードでも受信できない（回線障害などが原因）
	相手が手動受信で電話を切った	T.4.4	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	R.3.5	メモリオーバーで受信できなかった
	相手機種が G3 機でない	T.5.1、T.5.2 T.5.3	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	R.4.2	受信中に信号が切れた（回線障害などが原因）
T.1.4	交信開始時にストップキーを押した（通信管理記録のみ表示）	T.8.10、T.8.11	回線障害などが原因で交信できなかった。	R.4.4	メモリ容量オーバー（通信管理記録にのみ記載）
		T.8.1	受信モードが合わない	R.5.1	受信中に信号が途切れた送信側でストップキーを押した
T.2.1	回線状態が悪く（特に海外）相手機が回線を切った	R.1.1	手動受信または転送受信を行ってファクスが受信状態になったが相手から信号がこない	R.5.2	受信中に信号が途切れた（回線障害などが原因）
T.2.3	回線障害などが原因で、最低速度でも交信できない	R.1.2	送信機とのモードが合わない	R.8.10、R.8.11	回線障害などが原因で交信できなかった。
			ダイレクトメール禁止中にダイレクトメールを受信した。（通信管理記録のみ表示）	R.8.1	通信機とのモードが合わない

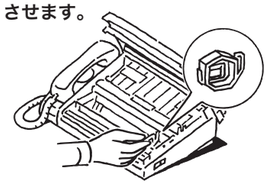
※対応・処理の方法は 113 ～ 114 ページを参照してください。

記録紙をセットする

1 本体のトップカバー開放レバーを手前に引きます。

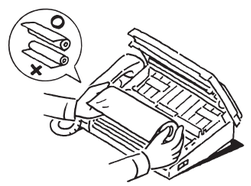
※記録紙排出口には絶対に手をふれないでください。

2 サイズに合わせて仕切板を移動させます。



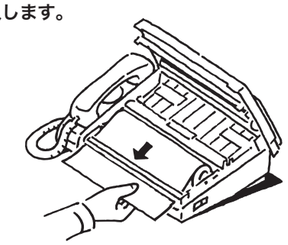
※緑色の仕切板を記録紙の A4、B4 サイズに合わせてセットしてください。
※つまみを手前に引くとはずすことができます。

3 記録紙を本体にセットします。



※交換するときは古い記録紙を取り出します。
※巻き方向に注意します。
※左によせてセットします。

4 記録紙の先端をペーパーガイドの下（白い矢印の下）に挿入します。



5 トップカバーの左右両端を押さえて静かに閉じます。

※“カチッ”と音がするまで確実に閉めてください。

原稿がつまったとき

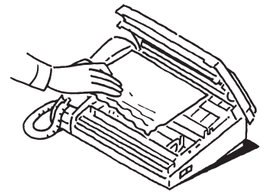
お願い

- メモリに蓄積された原稿が消えるおそれがありますので、電源を切らずに操作してください。
- 原稿を無理に引き抜かないでください。原稿が破れたり、機器の故障の原因となります。

1 トップカバー開放レバーを手前に引きます。

※記録紙排出口には絶対に手をふれないでください。

2 トップカバーを開け、つまっている原稿を取り除きます。



3 トップカバーの左右両端を押さえて静かに閉じます。

※“カチッ”と音がするまで確実に閉じてください。

4 ２枚目以降の原稿がつまると、次のような表示が出ます。

```
ｹﾞﾝｺｳｶﾞ　ﾂﾏﾘﾏｼﾀ
ﾂｽﾞｷﾉ ﾖﾐﾄﾘ　ｾｯﾄ/ｸﾘｱ
```

5 読取りを続ける場合は [セット] キーを押します。

※読取りを中止する場合は [クリア] キーを押します。待機状態に戻ります。
※１分間何も押さないと蓄積した原稿を消去し、待機状態に戻ります。

6 つまった原稿からセットし直し、表示されたキーを押します。

※原稿の読取りを再開します。

記録紙がつまったとき

⚠注意

- サーマルヘッド（印字部）付近には触れないでください。動作直後は高温になっており、やけどの原因になります。
- カッター部には絶対に触れないでください。ケガの原因となります。

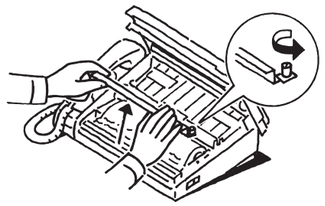
お願い

- メモリに蓄積された原稿が消えるおそれがありますので、電源を切らずに操作してください。
- 記録紙は無理に引き抜かないでください。機器の故障の原因となります。

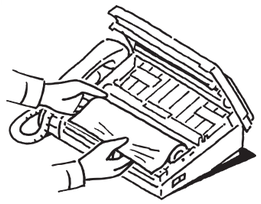
1 トップカバー開放レバーを手前に引きます。

※記録紙排出口には絶対に手をふれないでください。

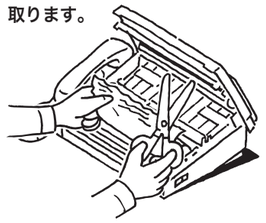
2 トップカバーを開き、ペーパーガイドを外します。



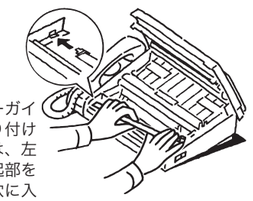
3 つまった記録紙を取り除きます



4 記録紙の破れた部分やしわになった部分をハサミなどでまっすぐに切り取ります。



5 ペーパーガイドを取り付け、記録紙をセットし直します。



※ペーパーガイドを取り付けるときは、左端の突起部を四角い穴に入れます。

6 トップカバーの左右両端を押さえて静かに閉じます。

※“カチッ”と音がするまで確実に閉じてください。